学校番号	2004

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学発展	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C（数研出版） ４STEP 数学Ⅲ＋C（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解するとともに、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知り、積極的に数学を活用する姿勢を養ってください。この授業では数学Ⅰ・数学 A の内容をまず復習してから、共通テスト形式の問題に取り組みます。基礎的な部分は小テストで出題するので、小テストに向けて自分で復習に取り組んでおいてください。ニューステージ数学演習の問題を解くことを通じて共通テストに向かう力を養い、実戦形式で共通テスト関連問題に取り組んでもらいます。基礎の部分は自分での復習としますので、わからない部分があれば授業までに解消しておくようにしましょう。定義や公式・定理という形で覚えるだけではなく、基本問題を復習しながら、問題を解くうえで直接に役立つ形でとらえられるようにしましょう。

2　学習の到達目標

（1）数学に関する基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
（2）数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培う。
（3）数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，集合と命題，２次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の計量を論理的に考察する力、データの分析、確率、図形の性質を的確に数学的に表現して、その特徴を数学的に考察する力、など、日常の事象を数学化し，問題解決の過程や結果を振り返って統合的･発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学Ⅰ	数と式 2 次関数	a 正確に計算できる。 正確に式変形できる。 b:グラフを正確に描き、意味を理解している。 c:文章題を理解し、日常生活で出会う事象を数学的に解決する。	定期テスト 課題	定期テスト 小テスト 課題	授業態度 発問 課題
		共通テスト形式の演習 (数と式、2 次関数)	a:正確に計算できる。 b:限られた時間で沢山の問題を解く。 c:学んだ内容を活用し、粘り強く理解できるまで問題に向き合う。	定期テスト 課題	定期テスト 小テスト 課題	授業態度 発問 課題
	数学Ⅰ	図形と計算 データの分析	a 図形を正確に書き計算できる 出てきた資料を正確に分析する。 b:図形の意味を理解する。 データを数学的に理解する。 C 文章題を理解し、日常生活で出会う事象を数学的に解決する。	定期テスト 課題	定期テスト 小テスト 課題	授業態度 発問 課題
後期		共通試験形式の演習 (図形と計量、データの分析)	a:正確に計算できる。 b:限られた時間で沢山の問題を解く。 c:学んだ内容を活用し、粘り強く理解できるまで問題に向き合う。	定期テスト 課題	定期テスト 小テスト 課題	授業態度 発問 課題
	数学A	場合の数と確率 図形の性質	a 正確に計算できる。 正確に式変形できる。 b:図形を正確に描き、意味を理解している。 c:文章題を理解し、日常生活で出会う事象を数学的に解決する。	定期テスト 課題	定期テスト 小テスト 課題	授業態度 発問 課題
		共通試験形式の演習 (場合の数と確率、図形の性質)	a:正確に計算できる。 b:限られた時間で沢山の問題を解く。 c:学んだ内容を活用し、粘り強く理解できるまで問題に向き合う。	定期テスト 課題	定期テスト 小テスト 課題	授業態度 発問 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度